

「赤い羽根」を胸につけよう

10月1日から助け合い共同募金

昭和52年度国民たすけあい共同募金は、ことしも10月1日から12月31日まで行われます。富士市のことしの目標額は1,100万円（前年度実績額1,294万円）で募金方法は、次のとおりです。

◆町内募金

9月1日現在、被保護世帯を除き一世帯当たり100円割合で町内会長に依

頼します。

◆特志募金（小口法人を含む）

民協各地区ごと民生委員が担当町内の有志や小口法人を訪問して募金を受けます。このほか大口募金および街頭募金についても例年どおり実施する予定です。市民1人でも多く赤い羽根を胸につけてください。

昭和51年度国民たすけあい共同募金運動につきましては、市民のみなさま方の理解あるご支援とご協力をいただき立派な成績をあげることができました。みなさま方からご寄付いただいたこの尊いお金は、下記の

とおり生活の困難な人々の生活援助児童の健全育成のための児童の遊び場の設置助成、地区敬老会助成などへ贈られ、明るい住みよい地域社会建設のために大きな力となっています。

共同募金ありがとうございました

51年度の実績額 1,294万円

＝昨年度の実績＝

- ▶ 募金実績額 12,945,610円
- ▶ 募金内訳
 - 町内募金 4,896,140円
 - 特志募金 5,770,960円
 - 大口募金 2,113,150円
 - 街頭募金 165,360円
- ▶ 県共同募金会より当市施設(私立)配分金内訳
 - ① 養護施設 ひまわり園 600,000円
 - 誠信少年少女の家 150,000円
 - 岩倉学園 350,000円
 - ② 特別養護老人ホーム

楽寿園 700,000円

- ③ 児童厚生施設
 - 児童の遊び場設置助成 7カ所 265,000円

- ④ 私立保育園
 - ひな保育園 200,000円
 - 愛生保育園 200,000円
 - 伝法保育園 200,000円

- ⑤ 社会福祉協議会福祉活動振興費 7,520,610円

(この配分金にて下記の事業を実施しました)

科目	金額	施設援護費	2,000,000円
児童福祉費	353,000円	児童遊び場援護費	465,400円
		高額療養費	1,000,000円
老人福祉費	2,219,950円	法外援護活動費	812,562円
		募金諸費	369,698円
身障福祉費	300,000円	計	7,520,610円



民生委員のしごと

現在、市内には厚生大臣の委嘱を受けた185人（うち婦人59人）の民生委員がいます。民生委員は、常に社会福祉の発展のために、いろいろな活動をしています。民生委員の活動の主なものは、次のようなことです。

- ① 担当区域に住む人の生活状態を把握し、必要に応じ生活上の助言指導。
- ② 要援護が必要な人たちに対する適切な指導。
- ③ 福祉行政機関の仕事への協力。
- ④ 心配ごと相談所の相談員。
- ⑤ 共同募金、歳末助け合い運動への協力。

また、民生委員は、人柄がよく、地域に住む人たちの暮らしぶりに明るく、社会福祉増進に熱意のある方ばかりです。生活上のことで困っている方や心配ごとのある方は、もよりの民生委員に気軽に相談し、助言指導を受けたいかががでしょうか。

また「心配ごと相談」は、毎週月曜日午前10時から午後3時まで市役所2階の市民相談室で開いております。

【写真・心配ごと相談に応じる民生委員】